

E Z - W I N総合評価シート2020.10.10 東京11R G3サウジアラビアRC 芝1600m 2歳 15:45																						
枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	井内氏評価	調教偏差値A	パターン評価☆	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レシポ	最高補正指数	総合評価点数	
×	1	1	ピンクカメハメハ	牡2	55	6				1,13	1,1		18		16					短	84	11
△	2	2	ジャンカズマ	牡2	55	4	a			6,3	6,1	9,4	35		29					94	22	
	3	3	ビゾンテノブファロ	牡2	55	10	b			5,3	6,3	2,9	23		15					88	17	
×	4	4	スペシャルトーク	牡2	55	3				5,3	6,1		33		38					86	12	
○	5	5	インフィナイト	牝2	54	1	b			2,1			100		67		\$		昇	85	44	
	6	6	セイウンダイモス	牡2	55	8				7,5	3,1	6,1	22		17					88	12	
★	7	7	ダディーズビビッド	牡2	55	5	a			3,1	2,1		30		38					97	20	
▲	7	8	キングストーンボーイ	牡2	55	2	b			4,1			54		58				短	81	35	
◎	8	9	ステラヴェローチェ	牡2	55	7			C	1,3			33		17				昇	88	32	
×	8	10	カガフラッシュ	牡2	55	9				11,11	10,1		18		16		\$		短	81	13	

G3 サウジアラビア RC はキャリア2戦以内の馬しか馬券になっていないレース。

特に新馬戦で1発回答を出してきたキャリア1戦組が非常に優秀でございますな。

つまり新馬戦から能力を発揮できるだけの「完成度の高さ」がモノを言うレース。

馬番の背景色「赤」はキャリア1戦。「黄」はキャリア2戦。

9番ステラヴェローチェは欧州ブラッシンググルーム系バゴの産駒。
雨馬場は歓迎の血で、自身も新馬勝ちは雨馬場でございました。

母の半兄ゴスホークケンは G1 朝日杯 FS の勝ち馬。

ノーザンファーム生産育成のバゴ産駒は非常に成功率が高く
本馬の場合は決して一流の牝系と言う訳ではないのに
セレクトセールで6500万円の高値が付くのは
それほど左様に、世間がその成功率の高さを認識しておる。
と言う事の証でもありましょう。

新馬勝ちの指数が非常に優秀で、
更なる上積みがあれば突き抜ける可能性も。

5番インフィナイトは不良馬場で先行して上り最速。
父のモーリスは母父が「サドラーズ×ネヴァーベンド系リバーマン」
という特殊馬場に非常に適性の高い配合のカーネギー。

また、母父のアグネスデジタルは芝とダートの G1 を勝った
馬場不問の見本のような馬でしたな。

アグネスデジタルの母父はダンチヒ系で、これは渋った馬場に非常に利く血統でございます。

さらに、牝系ファミリーは「キャサリンパー」の牝系で、雨馬場の宝塚記念でドゥラメンテを負かした女傑マリアライトを出した牝系でございますな。

近親にはダンビュライト、半兄にブラックスピネルと言った重賞活躍馬も複数出しており、お家柄にも不足なし。

本格化するのはいさ少し先になりそうな血筋ではありますが現状でも十分に通用するレベルにはありましよう。

8番キングストーンボーイはドゥラメンテ産駒
母系は雨馬場でも力を出せる家系ながら、
父は高速馬場向きの実績で、産駒も馬場が渋るのはマイナス材料。
母に似れば上位に来るでしょうが、父の影響が強ければ・・・

7番ダディーズビビットはキズナ産駒。
母系に米国血統を重ねた配合のキズナ牡馬は
パワータイプに特化しやすく、ダートでも走っております。
前走は軽い馬場での結果で、今回は上積みを見せる可能性は十分。
キャリア2戦組の中でも指数は抜けており、馬場が合えば怖い存在。

2番ジャンカズマは雨馬場の当コースに相性の良いハービンジャー産駒（ダンチヒ系）
ダンチヒの血を持つ馬は雨馬場に強く、特殊馬場になりそうな今年はキャリアの壁を
破ってくる可能性は無視してはならぬ存在。
井内氏の調教評価も高く、ここは2着まではあり得るか。

馬連

9-2, 5, 7, 8

3連複フォーメーション

9-2, 5, 7, 8-1, 2, 4, 5, 7, 8, 10

3連単1頭軸マルチ

9→5, 7, 8